

令和8年度 家庭科 第1学年 年間指導計画案

学期	月	時数	編・章	指導内容・項目		
				学習内容	学習の目標	方法・教材等
1学期	4月	3	家庭科のガイダンス<キャリア> B 食生活 1 人間にとっての食事 ①食事の役割 ②毎日の食習慣と健康の基本 ③食事の役割と調理 2 食品と栄養素 ①食品と栄養素をつなぐ ②栄養素のはたらき 3 中学生に必要な食事 ①中学生の発達と必要な栄養 ②目で見て判断～栄養バランス～ 5 献立づくり 1日分の献立	自立と共生について考える。	3年間での到達目標を把握し、家庭科分野の見通しを持つ。	
	5月	4		食事摂取基準から中学生に多く必要な栄養素を考える。	健康によい食習慣について理解している。 中学生の1日に必要な栄養素の種類と働きや、食品の栄養的特質について理解する。	
	6月	3		食品に含まれる栄養素と、食品成分表の見かたを理解する。	用途に応じた生鮮食品と加工食品の選択について理解する。	
	7月	3		中学生に必要な栄養を満たす1日分の献立を考える。	食品の安全と衛生に留意した管理について理解する。 1日分の献立を作成する方法について理解する。	
2学期	9月	3	4 日常食の調理と地域の食文化 ②生鮮食品の選択と保存 ③肉の特徴と調理 ④魚の特徴と調理 ⑤野菜の特徴と調理 ⑥加工食品の選択と保存	生鮮食品と加工食品の特徴、表示内容、保存方法をなど知る。	材料に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理が適切にできる。	・一斉指導 ・学習プリント ・家庭学習課題 ・視聴覚教材 ・小テスト ・定期テスト
	10月	3		安全と衛生に配慮して、肉・魚・野菜の特徴や取り扱い方を踏まえた調理ができる。	地域の食文化について理解しているとともに、地域の食材を用いた和食の調理が適切にできる。	
	11月	4				
	12月	3				
3学期	1月	3	4 日常食の調理と地域の食文化 ① 食品と調理	調理に必要な手順や時間を考え、調理計画を工夫する。	食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理について理解し、適切に調理ができる。	
	2月	3	4 日常食の調理と地域の食文化 ⑦受け継がれてきた食文化	持続可能な食生活を送るために食生活を工夫することができる。	社会や環境に配慮した食生活について課題を見だし、課題解決について考える。	
	3月	3	6 持続可能な食生活を目指して<キャリア>			
合計		35				

令和8年度 家庭科 第2学年 年間指導計画案

学期	月	時数	編・章	指導内容・項目		
				学習内容	学習の目標	方法・教材等
1学期	4月	3	B 衣生活 1.衣服の働きと手入れ	どうして衣服を着るのだろう 自分らしい着方 和服の文化にふれてみよう 衣服は何でできているのだろう	目的に応じて、ふさわしい衣服を判断することができる。 和の文化について関心を持ち、和服や和柄を理解して継承のために主体的に取り組もうとしている。 繊維や洗剤などの種類と特徴を踏まえた扱い方が理解できる。 布製品の基本的な製作知識や、手入れの仕方が理解できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・一斉指導 ・学習プリント ・家庭学習課題 ・視聴覚教材 ・作品見本 ・裁縫道具 ・小テスト ・定期テスト
	5月	4				
	6月	3	2.衣服の選択と手入れ	衣服の手入れ 洗濯の準備 補修や収納・保管		
	7月	3				
2学期	9月	3	3.布を用いた作品で生活を演出	生活を豊かにするもの 製作の基礎・基本を知ろう	安全に配慮した、正しい裁縫道具の使い方が理解できる。 衣服の修繕に必要な基礎技能やミシンなどの裁縫道具の適切な使い方を身につける。 衣生活や住生活を豊にするための製作品を考え、製作計画や方法について自分なりに工夫できる。	
			4.持続可能な衣生活	環境に配慮した衣生活		
	10月	3	C 消費生活 1.家庭生活と消費 2.購入・支払いと生活情報 3.消費生活者被害と消費者の自立 4.持続可能な社会 ＜キャリア＞	消費生活のしくみ 購入の時に考えること 商品情報から見えること いろいろな購入方法 現金以外の支払い方法	契約の重みや身近なトラブルが理解できる。 様々な契約の仕方や法律を踏まえ、トラブルに備えた行動判断ができる。 消費者を守る法律に関する知識を身につけている。 環境に配慮した消費生活について理解している。	
	11月	4				
	12月	3				消費者の権利と責任 身近に起こっている消費者被害 売買契約の成立と解約 自立した消費者になるために 消費者が環境に与える影響
3学期	1月	3	B 住生活 1.人間にとっての住まい 2.生活に必要な住空間 ＜キャリア＞ 3.自然とともにある住生活 4.安全で健康的な住生活 5.持続可能な住生活	人間の生活を支える住まい 家庭内事故への備え 室内環境を健康に保つ 災害に備えた空間		生活を配慮した住まいの工夫や特徴を理解している。 住まいに関わる危険について理解し、災害を想定した行動判断をすることができる。 住まいに関わる危険と対策の仕方を理解している。 記号を用いた作図や、空間デザインのポイントを踏まえた空間設計に取り組むことができる。
	2月	3				
	3月	3				
合計		35				

令和8年度 家庭科 第3学年 年間指導計画案

学期	月	時数	編・章	指導内容・項目		
				学習内容	学習の目標	方法・教材等
1学期	4月	7	A 自分の成長と家族・家庭 2.幼児の生活と家族 3.幼児との関わり 〈キャリア〉	幼児の生活と遊び	乳幼児の生活の特徴が理解できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・一斉指導 ・学習プリント ・家庭学習課題 ・視聴覚教材 ・作品見本 ・裁縫道具 ・小テスト ・定期テスト
	5月				乳幼児の発達段階と遊びの関係性について理解できる。	
6月	幼児との関わり方			乳幼児の立場を考え、適切な声かけや対応をすることができる。		
7月						
2学期	9月	7	4.家族生活と地域 のかかわり 〈キャリア〉	乳幼児のおもちゃ製作	乳幼児の特徴を理解し、安全に配慮したおもちゃの製作ができる。	
	10月				子供にとっての家族	
	11月					
	12月					
3学期	1月	4	5.持続可能な家庭生活	中学生としての自立	高齢者の体の特徴を踏まえ、身体機能が低下した高齢者に対して、高齢者の特徴を踏まえた配慮を行いながらの介助の仕方のポイントが身についている。	
	2月			地域との関わり	乳幼児や中学生と、高齢者の体の特徴が異なることを理解している。 視力や聴力の低下など、中学生とは異なる高齢者の体の特徴を理解している。	
	3月			体が不自由な人への服の着脱介助の実習	高齢者の体の特徴を踏まえた介助の手順や配慮すべきポイントが説明できる。	
合計		18				